

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) JFEフェライト株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 712-8074 岡山県倉敷市水島川崎通1丁目
----	-----------------------------	----	---

本票作成	部署名：製造部
------	---------

主たる業種	分類コード	28	業種名：電子部品・デバイス・電子回路製造業
-------	-------	----	-----------------------

事業の概要	ソフトフェライトの製造、販売
-------	----------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	倉敷工場	岡山県倉敷市水島川崎通1丁目

特定事業者の該当要件	<input type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	---

温室効果ガス排出量	基準年度(令和3年度)	(令和5)年度排出量	目標年度(令和6年度)
	4,031 t CO <sub>2</sub>	3,535 t CO <sub>2</sub>	4,233 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和5)年度排出量
	①	倉敷工場	3,535 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	令和4年度	～	令和6年度	(3箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(5)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	17.4 %	3.1 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 製品の生産量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(5)年度	目標年度
		6.844 t CO <sub>2</sub> /( t )	5.656 t CO <sub>2</sub> /( t )	6.635 t CO <sub>2</sub> /( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和5年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

2022年度から継続し、エネルギー効率の悪い1号焼成炉を停止して他の焼成炉で生産を行う等の取り組みを行い、原単位当たり排出量を基準年度より削減する事が出来た。

**【推進体制】**

<p>エネルギー管理統括者（工場長）</p> <p>ーエネルギー管理企画推進者（製造部部長） ※エネルギー管理員を兼務</p> <p>ー製造部</p>
---

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
倉敷工場	<p>(令和5年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー効率の悪い1号焼成炉を継続停止して他の焼成炉で生産し、排出量の削減を継続した。</li> <li>・照明のLED化を継続実施した。</li> </ul> <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気焼成炉(3号焼成炉)の温度管理強化による省電力</li> <li>・LPG燃焼炉の温度管理強化、燃焼管理強化によるLPG使用原単位削減</li> <li>・集塵機等の機器のインバーター化推進による省電力</li> <li>・照明のLED化の継続による省電力</li> <li>・エアコン他を省エネ機器へ更新</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

<p>令和3年度の二酸化炭素排出量は4,031トンで、製品の生産量589トンで割ると、原単位は、6.844tCO<sub>2</sub>/tであった。</p> <p>令和5年度は、二酸化炭素排出量は3,535トンで、製品の生産量625トンで割ると、原単位は、5.656tCO<sub>2</sub>/tであった。</p> <p>目標年度の令和6年度は、二酸化炭素排出量4,233トン、製品の生産量638トンで、原単位、6.635tCO<sub>2</sub>/t(令和3年度に対して3.1%削減)の前提であった。</p>
--